



兵庫労働局発表
令和2年11月30日

報道関係者 各位



[照会先]
兵庫労働局労働基準部
安全課
課長 谷本 俊江
安全専門官 濱田 一郎
TEL . 078-367-9152
FAX . 078-367-9166

死亡労働災害の急増に伴い 年末年始『兵庫緊急死亡労働災害根絶運動』を実施！

兵庫労働局長が「兵庫緊急死亡労働災害根絶宣言」を発出！

実施期間 令和2年11月20日～令和3年1月31日

兵庫労働局（局長 ^{あらかし しょういち} 荒木 祥一）は、10月に死亡労働災害が多発し、兵庫県下の労働災害による死者数が28人（11月12日速報値）となり、前年同期の25人を上回る厳しい状況になったことをうけ、労働局長自ら、「労働災害による犠牲者をこれ以上出さない」との強い決意をもって、「兵庫緊急死亡労働災害根絶宣言」を発出し、併せて当局ホームページを通じて当該宣言のweb配信（YouTube）を行いました。

加えて、実施期間を令和2年11月20日から令和3年1月31日とする「兵庫緊急死亡労働災害根絶運動実施要綱」（以下「実施要綱」という。）を策定、労働災害防止団体、経営者団体、関係業界団体、労働者団体等207団体に対して協力要請を行い、死亡労働災害が多発する建設業にあっては、12月に労働局長による建設安全パトロールを予定、その他労働基準監督署による集中的な監督指導、個別指導を実施する等、労働災害が多発傾向となる年末年始に向けて労働災害防止対策を強く指導します。

1 業界団体等に対する死亡労働災害防止に向けた緊急要請を実施

- (1) 「兵庫緊急死亡労働災害根絶宣言」を兵庫労働局長名で発出。（web配信（YouTube））
- (2) 局幹部による死亡災害根絶に向けた関係機関等への直接要請。
・実施要綱に掲げる「事業者の実施事項」について、その確実な実施を要請。
（年末年始は労働災害の増加が懸念される時期を啓発（点検、掃除等の非定常作業が増える））

2 労働局幹部による現場パトロールの実施

- (1) 労働局長による建設現場の安全パトロールを実施（建設業労働災害防止協会兵庫県支部（以下「建災防」という。）と連携）（12月1日（火）予定：別途広報あり）
- (2) 労働基準部長による製造業安全パトロールを実施（11月24日（火））

3 労働基準監督署による監督指導、個別指導の実施

- (1) 県下11の労働基準監督署が各管轄地において、12月1日（火）に建災防各分会と連携した県下一斉の建設安全パトロールを実施。
- (2) 死亡労働災害の発生業種（建設業、製造業等）に対し、集中的に監督指導、個別指導を実施。

兵庫労働局長が「兵庫緊急死亡労働災害根絶宣言」発出。

兵庫労働局ホームページに専用コンテンツを設け、11月20日より、web配信（YouTube）を実施しています。



兵庫労働局長が『兵庫緊急死亡労働災害根絶宣言』発出！



根絶宣言文の字幕

URL <https://www.youtube.com/watch?v=0IglIqMEneE>

2分44秒（字幕入り）

局幹部による死亡労働災害根絶に向けた関係機関等への直接取組要請を実施

労働局長による兵庫県経営者協会会長に対して協力要請を実施（11月20日実施）



労働基準部長による建設業労働災害防止協会兵庫県支部支部長及び一般社団法人兵庫県建設業協会会長に対して協力要請を実施（11月20日実施）



労働基準部長より、「兵庫労働局では「毎月17日は安全の日」を平成7年に設定している」事項も説明。

< 労働災害発生状況概要 > (令和2年1月～11月12日(速報値))

(1) 死亡者数

- ・ 全産業における死亡者数は28人で、前年同期に比べ3人(+12.0%)増加。
- ・ 業種別で見ると、建設業(11人)、製造業(4人)、陸上貨物運送事業(3人)、その他の業種(10人)で発生。
その他の業種・・・林業、港湾荷役業、清掃業、警備業、通信業等
- ・ 建設業は、前年同期比1人増加(10人 11人)、高止まりの状況にある。
- ・ 事故の型別では、「墜落・転落災害」で前年同期比3人増加(7人 10人)、「飛来・落下災害」も前年同期比3人増加(0人 3人)、「はさまれ・巻き込まれ災害」は前年同期比と同数の4人となる。
- ・ 建設業の「墜落・転落災害」6人は、全国ワースト1である。(11月12日時点)

(2) 死亡労働災害発生事例(10月発生分:4件)

事故の型	被害	災害事例
爆発災害	50歳代 男性	過去に有機溶剤を取り扱ったことがある装置を解体していたところ、当該装置が爆発し、装置の破片が当たり死亡したものの。
激突され災害	60歳代 男性	大型車両を駐車後、車外で作業を行っていたところ、駐車していた無人の大型車両が動き出したため、人力で止めようとしたが、激突され死亡したものの。
はさまれ・巻き込まれ災害	30歳代 男性	工作機械で金属部品を加工中、工作機械の回転部に巻き込まれ、死亡したものの。
墜落・転落災害	60歳代 男性	木造家屋の屋根の下地材を取付け作業中、屋根から地上に墜落し死亡したものの。

「墜落・転落災害」とは、人が樹木、建築物、足場、機械、乗物、はしご、階段、斜面等から落ちることをいう。

「飛来・落下災害」とは、飛んでくる物、落ちてくる物等が主体となって人にあたった場合をいう。

「はさまれ・巻き込まれ災害」とは、物にはさまれる状態および巻き込まれる状態でつぶされ、ねじられる等をいう。

「爆発災害」とは、圧力の急激な発生または開放の結果として、爆音をともなう膨張等が起こる場合をいう。

「激突され災害」とは、飛来落下、崩壊、倒壊を除き、物が主体となって人にあたった場合をいう。

(出典「労働災害分類の手引き」中央労働災害防止協会編集)

(添付資料)

- ・ 兵庫労働局長による「兵庫緊急死亡労働災害根絶宣言」(兵庫労働局ホームページに掲載)
- ・ 兵庫緊急死亡労働災害根絶運動実施要綱(兵庫労働局ホームページに掲載)
- ・ 兵庫緊急死亡労働災害根絶運動啓発用リーフレット(兵庫労働局ホームページに掲載)
- ・ 兵庫労働局ホームページ画面
- ・ 死亡労働災害発生状況資料(11月12日作成)

「兵庫緊急死亡労働災害根絶宣言」

— 兵庫緊急死亡労働災害根絶運動の実施にあたって —

働く人の生命と健康はかけがえのないものであり、働くことで生命が脅かされたり、健康を損なうことは本来あってはならないことである。

このため、兵庫労働局では、平成30年度より、兵庫第13次労働災害防止推進5か年計画に取り組み、労働災害防止に努めているところであるが、本年10月に死亡労働災害が多発したことによって、現時点において、既に前年同期の25人を上回る28人もの働く人の尊い命が失われる厳しい状況にある。

特に、建設業、製造業を死亡労働災害防止の重点業種とし、高所からの墜落・転落災害防止対策や機械設備によるはさまれ・巻き込まれ災害防止対策について安全措置の徹底をお願いしているところであるが、依然としてこれらの死亡労働災害が多発しているところであり、なかでも建設業における墜落・転落災害は、前年同期を2人も上回る6人となった。

たとえいかなる経済状況下であっても、誰もが安心して健康に働くことが出来る職場を実現するためには、事業者各位の安全衛生に関する強い関与が求められ、働く人の安全と健康を確保するためのコストは必要不可欠であることを正しく理解しなければならない。

全ての関係者がこの意識を共有し、それぞれの立場で責任ある行動を取ることによって、「許容できないリスクがない職場」を広めるとともに、「労働災害による犠牲者をこれ以上出さない」との強い決意をもって、兵庫県下における死亡労働災害の根絶を目指すことを、ここに宣言する。

令和2年11月20日

厚生労働省兵庫労働局

労働局長

荒木祥一

「兵庫緊急死亡労働災害根絶運動」実施要綱

- 急増する死亡労働災害の根絶に向けた緊急取組 -

令和2年11月20日

1 趣旨

兵庫労働局では、平成30年度より、兵庫第13次労働災害防止推進5か年計画(以下「13次防」という。)に取り組み、平成29年に発生した労働災害による死亡者数を5年間で15パーセント以上減少させることを目標として労働災害防止に努めているところである。

しかしながら、10月に死亡災害が多発し、11月12日の時点において、前年同期の死亡者数25人を既に上回る28人もの労働者の尊い命が失われました。

このため、当局では、これ以上の死亡災害を発生させないために死亡労働災害の根絶に係る緊急対策として、令和2年11月20日から令和3年1月31日を実施期間とする「兵庫緊急死亡労働災害根絶運動」を年末年始に向けて集中的に取り組むこととし、誰もが安心して健康に働くことが出来る職場の実現に向けて、事業者に安全衛生に関して強い関与を求め、「許容できないリスクがない職場づくり」について、全ての関係者が意識を共有し、死亡労働災害の根絶を目指すものである。

2 実施期間 令和2年11月20日(金)～令和3年1月31日(日)

3 兵庫労働局・労働基準監督署の実施事項

- (1) 兵庫労働局長による「兵庫緊急死亡労働災害根絶宣言」(局)
- (2) 各労働災害防止団体、経営者団体、関係業界団体等に対する緊急要請(局、署)
- (3) 労働局長による建設安全パトロールの実施(局)
- (4) 建設業労働災害防止協会兵庫県支部、各分会との合同パトロールの実施(局、署)
- (5) 監督指導及び個別指導の集中的実施(署)
- (6) 広報の実施(局、署)
- (7) 事業場が行う実施事項に係る指導援助(局、署)

4 労働災害防止団体、関係機関等の実施事項

- (1) 「兵庫緊急死亡労働災害根絶宣言」及び「兵庫緊急死亡労働災害根絶運動実施要綱」の会員事業者への周知、啓発
- (2) 上記3の実施事項への支援及び協力
- (3) 会員事業場に対する安全衛生活動の指導援助
- (4) 安全パトロール等の実施及び支援

5 事業者の実施事項

- (1) 業種横断的に実施する事項
 - ア 経営トップによる安全衛生への方針表明及び安全意識の高揚
 - イ リスクアセスメントの実施
 - ウ 安全パトロールによる職場の総点検の実施
 - エ 安全作業マニュアルを活用した教育の実施、遵守状況の確認

- オ 4 S活動（整理、整頓、清掃、清潔）KY（危険予知）活動、ヒヤリ・ハット等の日常的な安全衛生活動の充実
- カ 交通労働災害防止対策の取組
- キ 転倒災害防止対策（STOP！転倒災害プロジェクト）の取組
- ク 高年齢労働者、外国人労働者等に対する労働災害防止対策の取組
- ケ 年末年始の設備点検、清掃時の安全確認の徹底
- コ 積雪、凍結による災害防止に向けた措置の徹底
- サ 外部機関が行う中小規模事業場安全衛生サポート事業等の個別支援の活用、労働安全コンサルタント及び労働衛生コンサルタントを活用した安全衛生水準の充実
- シ 安全の日の設定等、その他安全衛生意識高揚のための活動の実施

（２）業種の特性に応じた労働災害防止対策に係る実施事項

ア 建設業における実施事項

- (ア) 足場等からの墜落・転落防止対策の実施、手すり先行工法の積極的な採用
- (イ) フルハーネス型墜落制止用器具の積極的な導入と適切な使用
- (ウ) 職長、安全衛生責任者等に対する安全衛生教育の実施及び確実な職務の励行
- (エ) 元方事業者による統括安全衛生管理、関係請負人に対する指導の実施
- (オ) 建設工事の請負契約における適切な安全衛生経費の確保
- (カ) 輻輳工事における適正な施工計画、作業計画の作成

イ 製造業における実施事項

- (ア) 機械の危険部分への覆いの設置等によるはさまれ・巻き込まれ等防止対策の実施
- (イ) 自主的なリスクアセスメントの実施と残留リスクの管理
- (ウ) 製造業における職長の能力向上教育の受講及び講師の養成並びに確実な職務の励行

ウ 林業における実施事項

- (ア) チェーンソーを用いた伐木及び造材作業における保護具、保護衣等の着用の徹底
- (イ) 適切な作業方法の実施
- (ウ) 木材伐出機械等を使用する作業における安全の確保

エ 陸上貨物運送事業における実施事項

- (ア) 荷台等からの墜落・転落防止対策、保護帽の着用の実施
- (イ) 積みおろしに配慮した積み付け等による荷崩れ防止対策の実施
- (ウ) 歩行者立入禁止エリアの設定等によるフォークリフト使用時の労働災害防止対策の実施
- (エ) トラック等の逸走防止措置の実施
- (オ) トラック等の後退時の後方確認、立ち入り制限の実施
- (カ) 乗務開始前の点呼の実施（飲酒、疲労、疾病、睡眠、体調不良の有無等）

オ 第三次産業における実施事項

- (ア) 全社的な労働災害の発生状況の把握、分析
- (イ) 経営トップの意向を踏まえた安全衛生方針の作成、周知
- (ウ) 職場点検、4 S活動（整理、整頓、清掃、清潔）KY（危険予知）活動、危険の「見える化」、ヒヤリ・ハット活動等の安全活動の活性化
- (エ) 安全衛生担当者の配置、安全衛生教育の実施、安全意識の啓発

兵庫緊急死亡労働災害根絶運動

- 急増する死亡労働災害の根絶に向けた緊急取組 -

実施期間 令和2年11月20日(金)～令和3年1月31日(日)

兵庫労働局長が『兵庫緊急死亡労働災害根絶宣言』発出！

労働災害による死亡者数28人（全国ワースト4位）

建設業の死亡者数 11人（前年同期10人）[全国ワースト2]

建設業の墜落・転落災害による死亡者数 6人 [全国ワースト1]

令和2年11月12日現在

兵庫緊急死亡労働災害根絶運動実施要綱

年未年始に向け労働災害が増加する傾向にあります。労働災害による犠牲者をこれ以上出さないため、本運動を実施し、全ての関係者が連携の上、積極的に労働災害防止対策に取り組み、死亡労働災害の根絶を目指しましょう！

目標 死亡労働災害の根絶

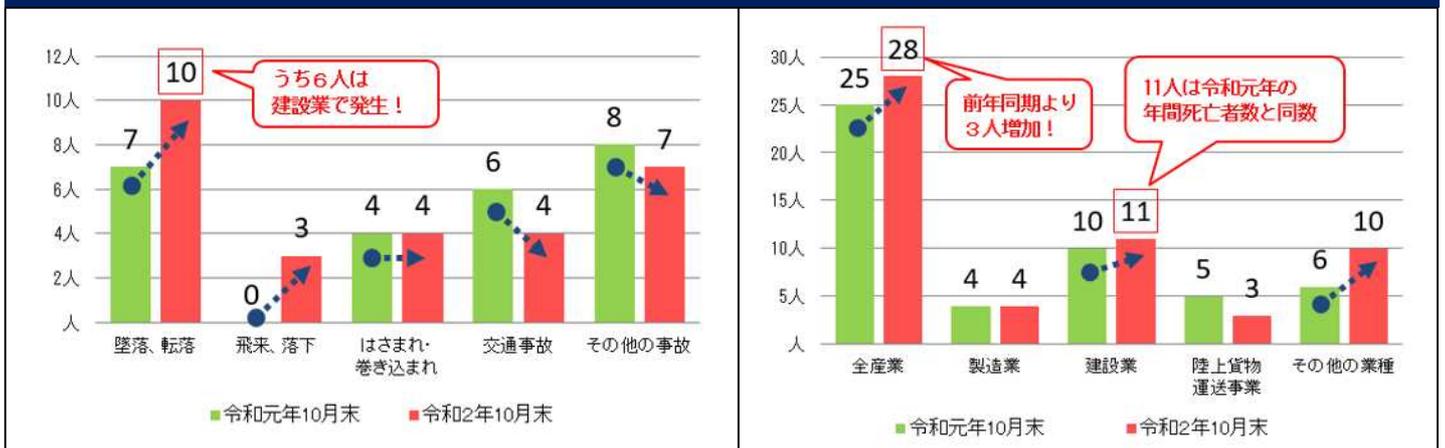
事業者の実施事項（業種横断的に実施する事項）

- ア 経営トップによる安全衛生への方針表明及び安全意識の高揚
- イ リスクアセスメントの実施
- ウ 安全パトロールによる職場の総点検の実施
- エ 安全作業マニュアルを活用した教育の実施、遵守状況の確認
- オ 4S活動（整理、整頓、清掃、清潔）、KY（危険予知）活動、ヒヤリ・ハット等の日常的な安全衛生活動の充実
- カ 交通労働災害防止対策の取組
- キ 転倒災害防止対策（STOP！転倒災害プロジェクト）の取組
- ク 高齢労働者、外国人労働者等に対する労働災害防止対策の取組
- ケ 年未年始の設備点検、清掃時の安全確認の徹底
- コ 積雪、凍結による災害防止に向けた措置の徹底
- サ 外部機関が行う個別支援の活用、労働安全コンサルタント及び労働衛生コンサルタントを活用した安全衛生水準の充実
- シ 安全の日の設定等、その他安全衛生意識高揚のための活動の実施



死亡労働災害発生状況

統計資料 死亡災害速報



兵庫労働局・県下各労働基準監督署

「兵庫緊急死亡労働災害根絶宣言」

— 兵庫緊急死亡労働災害根絶運動の実施にあたって —

働く人の生命と健康はかけがえのないものであり、働くことで生命が脅かされたり、健康を損なうことは本来あってはならないことである。

このため、兵庫労働局では、平成30年度より、兵庫第13次労働災害防止推進5か年計画に取り組み、労働災害防止に努めているところであるが、本年10月に死亡労働災害が多発したことによって、現時点において、既に前年同期の25人を上回る28人もの働く人の尊い命が失われる厳しい状況にある。

特に、建設業、製造業を死亡労働災害防止の重点業種とし、高所からの墜落・転落災害防止対策や機械設備によるはさまれ・巻き込まれ災害防止対策について安全措置の徹底をお願いしているところであるが、依然としてこれらの死亡労働災害が多発しているところであり、なかでも建設業における墜落・転落災害は、前年同期を2人も上回る6人となった。

たとえいかなる経済状況下であっても、誰もが安心して健康に働くことが出来る職場を実現するためには、事業者各位の安全衛生に関する強い関与が求められ、働く人の安全と健康を確保するためのコストは必要不可欠であることを正しく理解しなければならない。

全ての関係者がこの意識を共有し、それぞれの立場で責任ある行動を取ることによって、「許容できないリスクがない職場」を広めるとともに、「労働災害による犠牲者をこれ以上出さない」との強い決意をもって、兵庫県下における死亡労働災害の根絶を目指すことを、ここに宣言する。

令和2年11月20日

厚生労働省兵庫労働局

労働局長 荒木祥一

“毎月17日は「安全の日」です”

兵庫労働局（当時：「兵庫労働基準局」以下同じ。）では、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災以降、建設業や製造業を中心に死亡労働災害が多発したことを踏まえて、平成7年9月13日付けで「死亡労働災害多発非常事態」を宣言し、労働災害防止に取り組んできました。

この際、兵庫労働局では、復興への願いを新たに、当時、“毎月17日を「安全の日」”と定め、これを契機に、企業における安全衛生管理活動に対する関心を高め、安全朝礼や安全総点検等を実施し、各事業場で自主的に安全衛生活動に取り組んでいただくこととした経緯があります。

兵庫緊急死亡労働災害根絶運動

- 急増する死亡労働災害の根絶に向けた緊急取組 -

兵庫労働局では、平成 30 年度より兵庫第 13 次労働災害防止推進 5 か年計画(以下「13 次防」という。)に取り組み、平成 29 年に発生した労働災害による死亡者数 30 人を、5 年間で 15 パーセント以上減少(25 人以下)させることを目標として、労働災害防止に努めているところであります。

しかしながら、13 次防 3 年目の本年は、10 月に死亡労働災害が多発し、現時点において、昨年同期の死亡者数 25 人を既に超える 28 人ももの労働者の尊い命が失われています。

働く人の生命と健康はかけがえのないものであり、働くことで生命が脅かされたり、健康を損なうことは本来あってはならないことです。

これから年末年始を迎えるにあたって、掃除や点検等、日頃行わない非常作業が増え、災害が増える時期になります。

誰もが安心して健康に働くことが出来る職場にするためにも、事業者の皆様には安全衛生に関して強い関与が重要です。労働者の安全と健康を確保することは、大変重要な責務とされています。また働く労働者の皆様ご自身も今一度、指差呼称などによる安全確認行動をお願いします。

全ての関係者が連携し、各社の安全衛生活動に加え、本運動の実施事項を積極的に取り組むことで、「許容できないリスク がない職場」を広め、死亡労働災害の根絶を目指しましょう。

「許容できないリスク」とは、国際基本安全規格(ISO/IEC GUIDE 51:2014)による、安全の定義とされている言葉です。『安全とは「許容できないリスクがないこと」です。』

実施期間 令和 2 年 11 月 20 日(金)～令和 3 年 1 月 31 日(日)

[兵庫緊急死亡労働災害根絶宣言\(局長宣言\) 【PDF】](#)

[兵庫労働局長ビデオメッセージ 【クリック】](#)

[兵庫緊急死亡労働災害根絶運動実施要綱 【PDF】](#)

[兵庫緊急死亡労働災害根絶運動啓発用リーフレット 【PDF】](#)

残留リスク管理を
徹底しましょう！



問い合わせ

この記事に関するお問い合わせ先

労働基準部 安全課

TEL 078-367-9152

URL <https://www.youtube.com/watch?v=0lglIqMEneE> (2分44秒(字幕入り))

死亡労働災害発生状況資料

令和2年11月12日作成

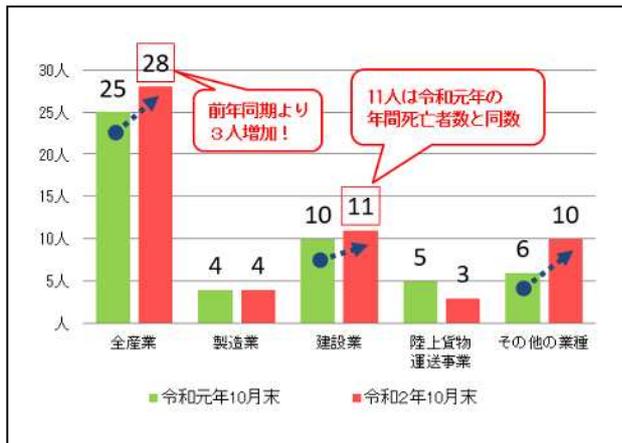
	令和2年1月～作成日		前年同期		前年比較	
	死亡者数	構成率	死亡者数	構成率	増減数	増減率
全業種	28	100.0%	25	100.0%	3	12.0%
製造業	4	14.3%	4	16.0%	0	0.0%
鉱業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
建設業	11	39.3%	10	40.0%	1	10.0%
運輸交通業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
陸上貨物運送事業	3	10.7%	5	20.0%	-2	-40.0%
港湾荷役業	1	3.6%	1	4.0%	0	0.0%
林業	1	3.6%	0	0.0%	1	100.0%
その他の事業	8	28.6%	5	20.0%	3	60.0%

※この死亡災害速報は、死亡災害速報の報告受付日で集計した数値を示しています。

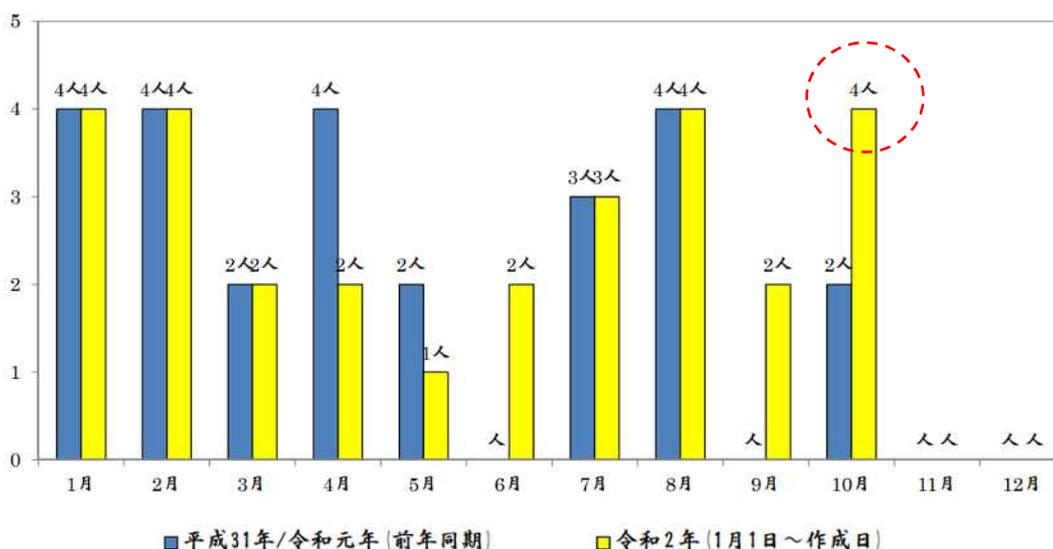
注)集計表の合計値は、四捨五入した数値の合計のため、必ずしも100.0%となるとは限りません。

令和2年業種別・事故の型別死亡災害発生状況（1月1日～作成日）

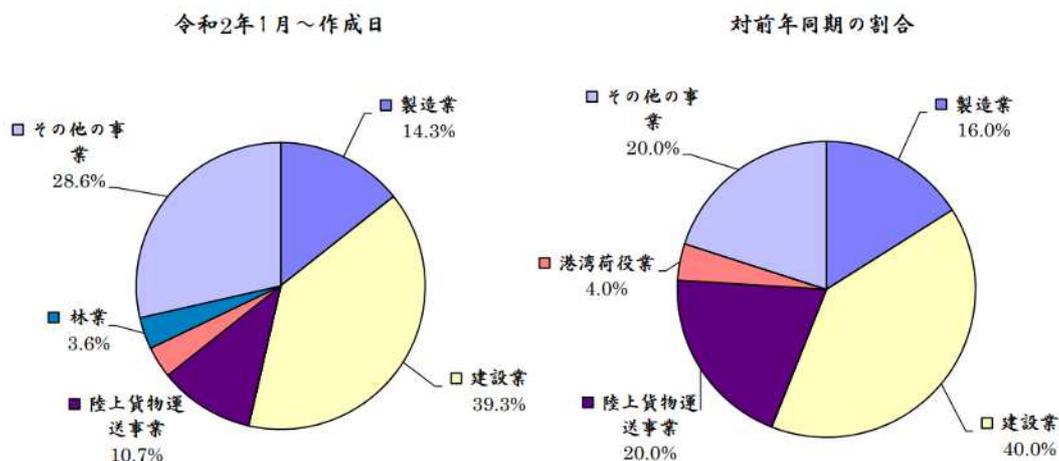
業種	事故の型													合計	
	墜落転落	転倒	激突	飛来落下	崩壊倒壊	激突され	はさまれ巻き込まれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接触	有害物との接触	感電	交通事故		その他
製造業(1)	1					1	1							1	4
鉱業(2)															0
建設業(3)	6	1		1	1		1							1	11
運輸交通業(4.1,4.2,4.4)															0
陸上貨物運送事業(4.3,5.1)							1						2		3
港湾荷役業(5.2.2)	1														1
林業(6.2)				1											1
その他	2			1		1	1			1			2		8
合計	10	1	0	3	1	2	4	0	0	1	0	0	4	2	28



令和2年発生月別死亡災害発生状況（1月1日～作成日）



令和2年業種別死亡災害発生状況と対前年比較（構成比）



注]集計表の合計値は、四捨五入した数値の合計のため、必ずしも100.0%となるとは限りません。